

策 定 方 針

【現在の取組】

- ・対策促進地区や浅い幹線の流域などの重点地区等で時間50ミリの施設整備を推進
- ・浸水被害の影響が大きい大規模地下街9地区に限定して時間75ミリの降雨に対応

【平成25年の浸水被害】

- ・集中豪雨や台風で700棟を超える**甚大な浸水被害**が生じたことから、雨水整備水準の**レベルアップ**を含めたプランを検討

【緊急プランの策定】

- ・地形や河川整備状況、被害規模などを踏まえ、**優先度を考慮しつつ、時間75ミリの降雨**に対応する**施設整備も含めた緊急プラン**を策定

3 つ の 取 組 方 針

一定規模以上の床上浸水が集中して発生した地域では、**時間75ミリの降雨**に対応できる施設を建設

既に施設整備を計画している地域のうち、今年被害が生じた地域では、**時間50ミリを超える降雨**に対しても被害を軽減

被害箇所が点在し浸水棟数が少ないなど被害が比較的小規模な地域では、区等と連携し**対策を早期**に実施

「ソフト対策」により自助・共助の取組を支援

- 東京アメッシュの精度向上、**幹線水位**など**情報提供**を充実
- 浸水対策強化月間の取組や**ツイッター**での**情報発信**などお客さまの自助・共助を支援

取組メニュー例

最新レーダーの導入

下水道局ツイッター

対 策 地 区 と 取 組 内 容

「75ミリ対策地区」

目黒区上目黒、世田谷区弦巻地区など**4地区**

流出解析シミュレーションを活用し、既存施設の下に**時間75ミリ対応の新たな対策幹線**の整備など

「50ミリ拡充対策地区」

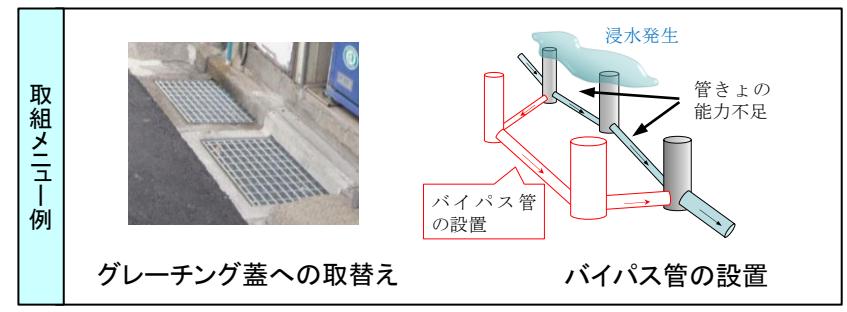
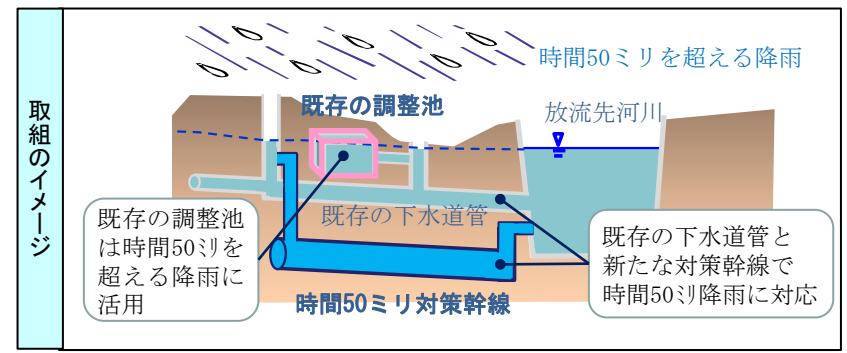
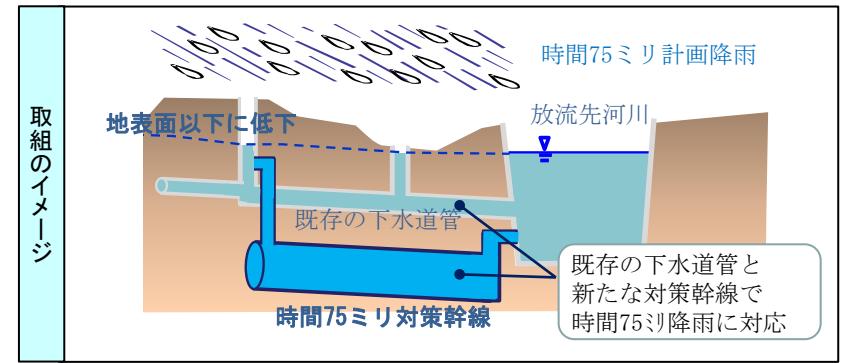
品川区戸越、西品川地区など**6地区**

施設整備の**前倒し**や、周辺の**既存貯留施設の活用**など可能な**対策を組み合わせ**た新たな施設の整備など

「小規模緊急対策地区」

杉並区善福寺地区など**6地区**

バイパス管の設置や区と連携した**雨水ます**の増設、**グレーチング蓋**への取替えなど、現場状況に応じた対策



事 業 推 進 に 向 け て

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、お客さまに安心して安全な東京をアピール
- 「75ミリ対策地区」、「50ミリ拡充対策地区」では平成31年度末までに効果を発揮、「小規模緊急対策地区」は3年以内に完了
- お客さまとのパートナーシップや、庁内関係局、区との連携を強化
- 今後の局地的集中豪雨等による浸水被害の発生状況により、実施地区の追加を検討